

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

群馬県 館林市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>2</sup> 当たり家庭料金(円)
-	83.64	0.99	91.86	2,970

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
73,667	60.97	1,208.25
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
729	0.46	1,584.78

グラフ凡例
■ 当該団体値 (当該値)
— 類似団体平均値 (平均値)
□ 令和6年度全国平均

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

- ①経常収支比率は100%を超えており、これは、一般会計からの繰入金（基準外）によるものであるため、さらなる使用料収入の確保、維持管理費等の費用の削減が必要となる。
- ②累積欠損金比率は発生していない。
- ③流動比率はマイナスとなっているが、これは令和5年度末に完了した発注工事について、令和6年度当初に請求があり、支払を行ったことによる一時的なものである。資金繰りは下水道事業全体で管理しているため支障はないが、接続率の向上による使用料収入の確保などにより、今後は一層の現金預金の確保が必要である。
- ④企業債残高対事業規模比率は発生していない。
- ⑤経費回収率は平均値を下回っており、さらなる使用料収入の確保、維持管理費等の費用の削減が必要となる。
- ⑥汚水処理原価は平均値を上回っており、経営改善のためにさらなる汚水処理費の削減が必要となる。
- ⑦施設利用率は平均値を下回っている。⑧水洗化率が100%に達していないことからも、農業集落排水への接続人口を増やし、施設利用率、水洗化率の改善が必要となる。

以上の分析から、農業集落排水事業の経営改善のためには、さらなる使用料収入確保、維持管理費等の費用の削減が必要となる。

### 2. 老朽化の状況について

本市の農業集落排水施設は、下早川田地区は平成11年、木戸地区は平成17年の供用開始と比較的新しい施設である。そのため、①有形固定資産減価償却率は平均値を下回っており、②管渠老朽化率及び③管渠改善率は発生していない。

しかし、今後老朽化が進むことは明らかであり、将来を見据えた老朽化対策が必要となる。

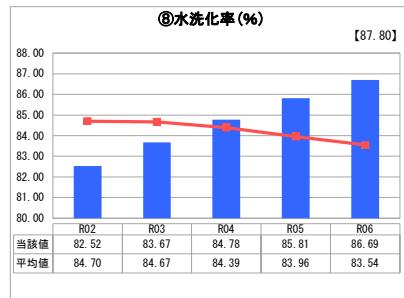
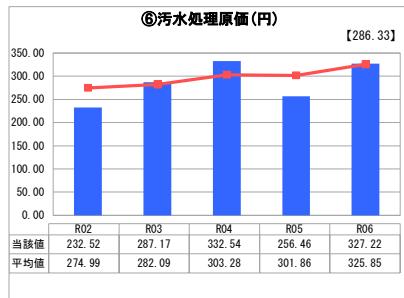
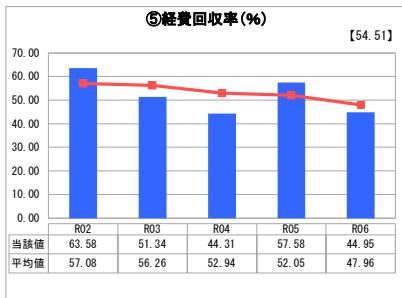
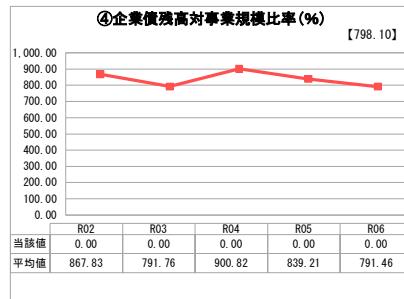
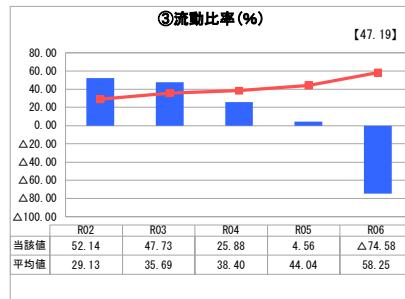
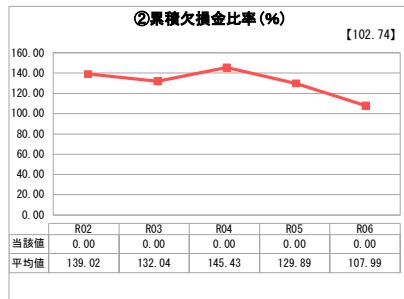
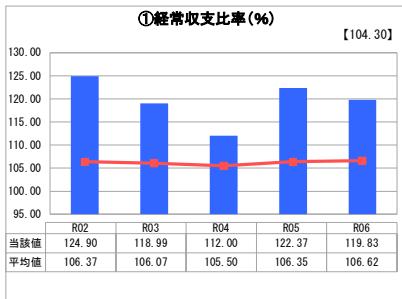
## 全体総括

本市の農業集落排水事業は、令和2年度より地方公営企業法の財務規定期等を適用している。

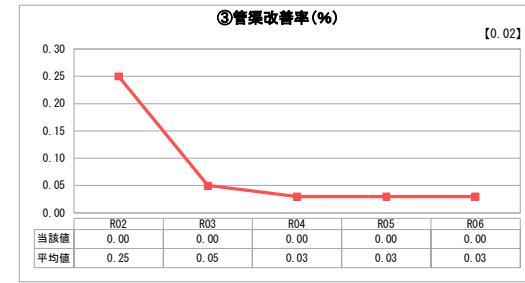
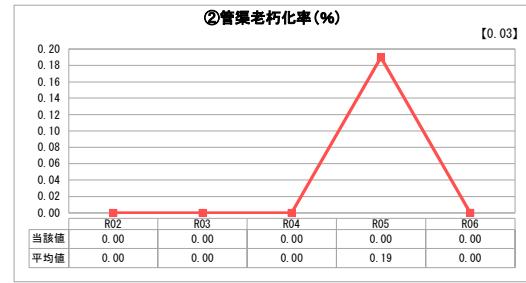
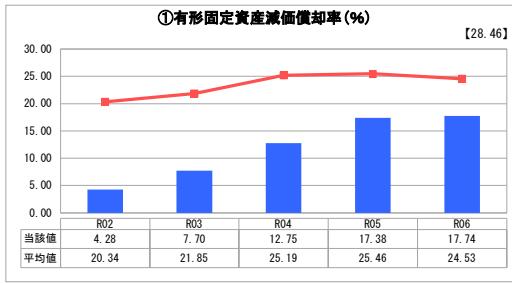
使用料収入だけでは経営を維持することが困難であるため、一般会計からの繰入金（基準外）を頼りにしている状況である。

今後、水洗化率の向上による使用料収入の確保、維持管理費等の費用の削減により、安定的な経営が図れるよう努める。さらに、老朽化に伴う更新費用の増大が見込まれることから、最適整備構想及び経営戦略を考慮し、計画的な更新を行っていく必要がある。

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみの類似団体平均値及び全国平均を算出しています。